

つながい 響き合う教育

縦 と 横

滋賀県高島市教育委員会

5町1村の合併

4町1村は旧町村の名前

新旭町だけが

高島市

琵琶湖＝日本一

西にある日本一の学校に = 地域の願い

湖西中学校

滋賀県



教育委員会

いつまでも 学而事人



生家跡



記念館



胸像



学而事人碑

学而事人
の道



ホームページの最初の画面に 学而事人



2019

全国コミュニティ・スクール研究大会 in びんご府中

滋賀県高島市湖西中学校
コミュニティ・スクール

縦 横

学校を核としたまちづくり

第1分科会

小中一貫教育とコミュニティ・スクールで創る
魅力ある学校・地域社会

テーマ

「地域の願いと力を学校に」を旗印に、CSの積極的
導入

～課題解決からまちの価値づくりへ～

発表内容

郷土の先人の教え『学而事人（がくじしじん）』を学校と地域が
共有した、CS1年目の奮闘・苦悩・喜びを紹介します。

令和元年8月2日（金）府中市文化センター

心豊かでたくましく生きる 生徒の育成

郷土の先人

桜美林学園創設者

学而事人

清水安三先生の教え

学びて 人に事える

勉強は自分のためだけにするのではない
社会の役に立つためにするもの

学而事人

がくじじじん

高島市のコミュニティ・スクール

- 2018年スタート
- 市内6中学校区(13小学校)で一斉に
- つながり響き合う教育 縦【小中】と横【地域】
- **学校の課題**の解決に
- 特色ある取組を
- 地域の方で学校を

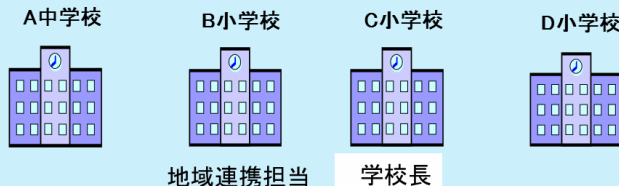
チャレンジ (1年目)



チェンジ (2年目)

つながり響き合う教育概念図

縦をつなぐ「小中一貫教育」



地域学校協働本部

地域住民・団体等により学校との
緩やかなネットワークを構築

- ①コーディネート機能
- ②多様な活動(地域住民の参画)
- ③継続的な活動

例 学習支援、郷土学習、
声掛け、見守り、地域行
事への参加、ボランティ
ア活動 等



子どもたちの健やか
な成長を支える

情報提供 支援
相談 調整



説明

地域が学校運営に参画
する持続可能な仕組み

承認
意見

学校運営協議会

役割

- ①学校運営の基本方針承認
- ②学校運営について校長に意見

組織(例)

- ・会長
- ・各小中学校保護者代表
- ・地域住民
- ・学識経験者
- ・各校校長、教職員
- ・地域学校協働活動推進員
- ・各種団体代表者
- ・教育委員会が認めるもの



車の
両輪

横をつなぐ「地域とともにある学校」

本校の教育課題

- ◇学力差解消 学力向上
- ◇人間関係構築
- ◇正しい価値観の醸成
- ◇困難を乗り越えられる心身の育成
- ◇いじめへの対応

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・滋賀県学校教育の指針
- ・高島市教育の重点等

めざす学校像

- 「活力と思いやりがあふれる学校」
- ◇学力、体力の向上に取り組む学校
 - ◇仲間を大切にす学校
 - ◇不正を許さず、正義が通る学校
 - ◇「志」を大切に、切磋琢磨し合える学校
 - ◇コミュニティスクール^{学而事人室}の発展
- 保護者や地域・関係機関とつながり響き合う学校
地域の全て(チーム)の力を学校に

価値づくり

変化 2年目のコミュニティスクール

生徒の実態

- 生徒会や部活動を中心に建設的なリーダーが育ちつつある。
- まじめで人なつこい生徒が多い。
- 小学校で身に付いたことが、中学校生活に成果として現れてきている。
- 学校教育活動に真剣に取り組む生徒が増えつつある。
- ▲学力差が依然として大きい。
- ▲人間関係がうまくつくれず、孤立してしまう生徒が増加している。
- ▲生徒指導上の困難な課題が増えていく。

- <H30 学校評価> 学校運営協議会
- ◇確かな学力を育む教育活動 【A】
 - ◇豊かな心を育む教育活動 【A】
 - ◇自然や地域と共生する力を育む教育 【A】

- 地域の実態等
- ◇地域の学校への支援が強力である。
 - ◇京阪神方面への通勤圏として転入者があり、職業の多様化が進んでいる。
 - ◇平成の町村合併で本校学区に市役所本庁が置かれ、地域の様相の変化が見られる。
 - ◇保護者をはじめとする大人社会の価値観や教育観の多様化が、子どもたちにも影響を与えつつある。

学校教育目標

『心豊かで、たくましく生きる生徒の育成』

豊かな心 確かな学力 学而事人

本校の教育理念として
学校生活を通し、人格の形成と社会性の育成をめざすとともに、すすんで課題を解決しようとする生徒を育成する。

生徒信条

心身の錬磨：困難にも笑顔で立ち向かう強い心と身体を
真理の探究：学びを喜び、学んだことを役立てる態度を
勤労の愛好：働き汗することを厭わず、率先して行う姿勢を
情操の陶冶：正しさ、美しさ、素晴らしさ等に感動する心を

めざす生徒像

「他を大切にしながら、自ら考え、仲間とともに主体的に学ぶ生徒」

学而事人の実践

- ◇仲間と真剣に学習に取り組み、向上し合える生徒
- ◇正義を愛し、他人のために自分を役立てる生徒
- ◇困難なことにも自ら笑顔で取り組もうとする生徒
- ◇身近が好きであり、次代を担おうとする生徒
- ◇「なりたい人になる」を求め続ける生徒

校内研究テーマ

「大権意識を向上させる道徳科授業のあり方について」
生徒会活動・コミュニティスクールとの連携

教職員の姿勢

～専門性と社会的資質を備え、
情熱をもって教育に取り組む教職員集団～

すばやく

なりたい大人に

- ・生徒とのかかわりを大切に、愛情をもって指導できる教師
- ・保護者や地域・関係機関と一緒に子どものために取り組む教師
- ・授業力向上のための工夫や改善に努め、学び続ける教師

真剣に寄り添う

コミュニティスクール
変える

教育実践の重点

本年度の指導力点

- 豊かな心を育む教育活動
 - ・生徒理解をベースとした一人ひとりを大切にした生徒指導を推進する。
 - ・いじめのない学校づくりに努める。
- 確かな学力を育む教育活動
 - ・正しい学習規律の定着を図る。
 - ・ICT機器を効果的に活用する。
 - ・教え合い高め合う授業づくりに取り組む。
 - ・朝読書や補充学習の充実を図る。
 - ・家庭学習の習慣化を図る。
 - ・保幼小中一貫教育を推進する。
 - ・高校、大学とつながり、学習効果を上げる。
- 健やかな身体を育む教育活動
 - ・運動部活動等の活性化を図るとともに、生活習慣の改善と食育の推進に努める。
- 自然や地域と共生する力を育む教育活動
 - ・郷土の自然や歴史、先人の教えなど、地域資源を教育活動に生かす。
 - ・保護者や地域に信頼され、ともに歩む学校づくりに努める。

地域の全て(チーム)の力を学校に

【むくげの花の会 学而事人室】

目指すものに何度でも取り組み続ける

本年度の到達目標：数値目標等

- ・さわやかなあいさつが飛び交う学校づくりを目指します。
- ・あらゆる機会を通して、生徒とのふれあいを大切にします。
- ・いじめのない集団づくりに努めます。
- ・いじめをなくすための生徒会活動の活性化を図ります。

学校が楽しい

- ・授業時数の確保に努めます。
- ・少人数指導等による個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- ・ICT機器を効果的に活用します。
- ・「めあて」を明示し、「振り返り」を行う授業づくりに努めます。
- ・課題の発見や解決に向けた主体的、協動的な学びを推進します。
- ・ペアやグループでの学び合う活動の充実を図ります。
- ・保幼小中の連携を図り、学習規律の定着や家庭学習の習慣化を図ります。

勉強が楽しい

- ・運動部活動において、健全な心と身体の育成を図ります。
- ・家庭や地域と連携し、生活習慣の改善や食育の推進に努めます。
- ・地域の方々の協力を得て、郷土のよさに触れる体験活動を実施します。
- 「地域の先人の教え」「清水山城散策」
- 「ふるさとウォーク」「ヨシ刈り」「環境学習」
- 「進路座談会」「志学のついで」「職場体験学習」
- ・学校での生徒の様子を保護者や地域に発信します。
- ・地域の指導者とともに教育活動を積極的に取り入れます。

コミュニティスクール

中長期的目標

- 授業を基盤とした学習習慣の定着
- 自ら進路を切り拓く学力の育成
- 社会的規範が身に付いた生徒の育成
- 学校や地域に誇りがもてる教育活動の展開
- 認め合い、支え合い、磨き合う集団の育成
- 学んだことを地域社会の中で生かす社会性の伸長

「学而事人」

「なりたい大人に」

「身近(チーム)が好き」

生徒の様子(課題)

①言葉遣い

②ねばり強さ

③仲間との関係

④授業が持たない

⑤自分の力で

⑥やかましい

⑦きまりを破りやすい

⑧体の調子

⑨良いことを言いすぎ

⑩不真面目

湖西中学校区コミュニティ・スクール

学校運営協議会（学校単位）

地域学校協働活動
本部：学而事人室

説明

学校経営方針

校長

学識経験者・保護者代表・
地域住民・地域関係団体代表

承認

地域連携担当教員・校長・教頭・事務職員

地域学校協働活動推進員

教職員 ※1

むくげの花の会（中）
希望の会（北小）
夢の会（南小）

学而事人
地域での実践

学而事人
おはよう
ミーティング

学而事人
ミュージアム

学而事人
湖西中カフェ

学而事人
0000

学而事人
収穫祭

学而事人
の道

学而事人
ファーム

新旭地域学校協働本部

★基本方針

① 『地域の力を学校に！』

学校支援の体制づくり

② 『子どもたちを地域に！』 = 『学而事人』

地域で活動・貢献できる場づくり

★キーワード

① 「学校を開く」

② 「学而事人」 (清水安三先生)

③ 「あいさつ」

新旭地域学校協働本部

当初の悩み ① 《学校》

★先生方との意思疎通を……

- ・ 「負担加重？」 「個人情報の漏洩？」 「クレーム・トラブルのもとに？」 等々の心配



①学校支援に徹する → 信頼関係

②『学而事人室の窓(裏面:本部活動の週計画)』を発行する

③「支援グループ」をつくる

新旭地域学校協働本部

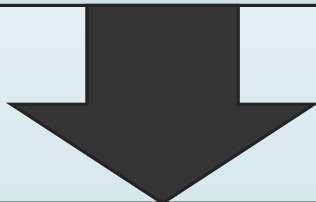
当初の悩み

②

《地域》

★特に、中学校へ入りやすくするには……

- ・「中学校に入る・中学生とふれあう」ことに抵抗感
- ・「内容が難しく、とても支援できない」等々の心配
- ・保護者ボランティアの応募者が、0人……



- ①「だれでもできそうなこと」から →→「あいさつ・声かけ」から
- ②「仲間」を集める →→顕彰会会員、ボランティアグループ会員から
- ③「中学校」を拠点にする →→「本部」(学而事人室)を置く

学而事人
おはよう ※3
ミーティング

湖西中学校合言葉「はっきり・やさしく・元気に」

はっきり・やさしく・元気に



週一月一 学期一年一

朝8時には、必ず誰かが
来ています

8:00~8:25ぐらいで

学而事人室のオープン

地域学校協働本部

むくげの花の会

図書室

学而事人室 入口

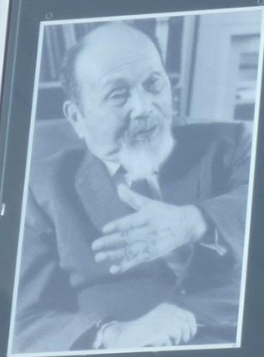
学而事人室

がく じ じ じん
学 而 事 人

「学問は決して自分のためだけにするものではなく、
身に付けた力を社会に役立てることが大切である。」

学而事人室のオープン

地域
学校
協働
本部



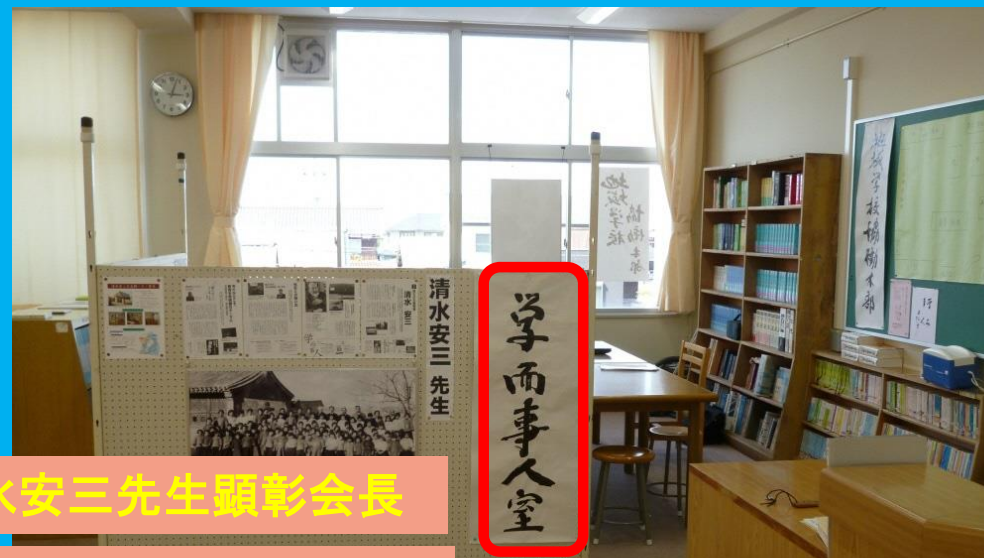
学 而 事 人 室

清水安三先生

1891~1988 (96歳)
(M24) (S63)

く・至・氣に

学而事人室では、・・・



清水安三先生顕彰会長

学而事人室

小中学校校長

中学校学校運営協議会委員長

新旭公民館長

中学校地域連携担当教員

中学校学校運営協議会副委員長

社会教育課担当者

小学校希望・夢の会代表

地域学校協働活動推進員



むくげの花の会会議



本部会議(湖西中学校区)

地域の全て(チーム)の力を学校に

1年目の学而事人室

毎朝、昇降口で

子育て教育相談

行事での関わり

部活動の支援

生徒作品への関わり

入試直前面接対策

ステージカーテン

図書室の活性化

「学習相談ルーム」の開設(試験前・夏季の学習会)

学習相談ルームの開設





コミュニティ・スクールだからこそできた

地域のか 恐るべし

コミュニティ・スクールだからこそできた

地域の力 こんなことも



地域の全て(チーム)の力を学校に

2年目の学而事人室

「学而事人〇〇〇〇」(コミュニティを創る)

職場体験で事業所依頼と本番初日の事業所訪問

道徳完全実施で授業に(大学連携のもと)

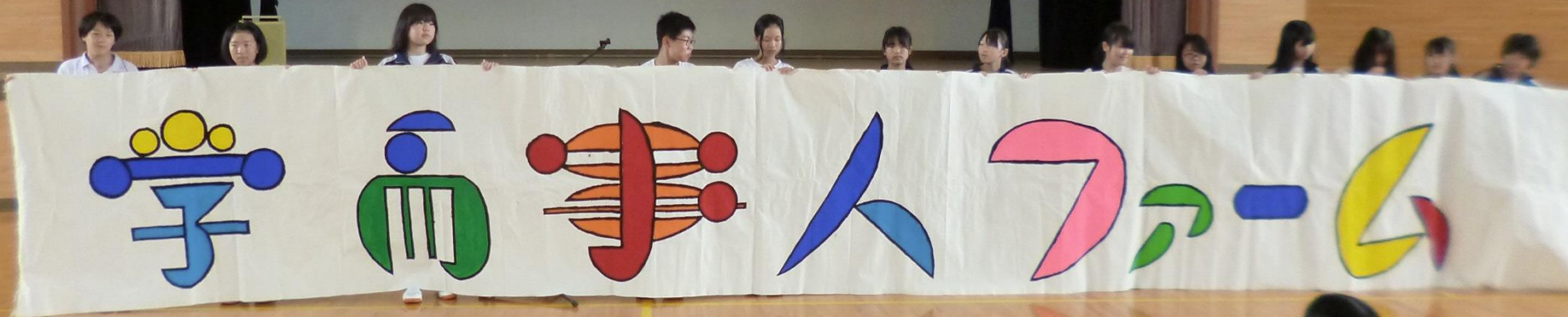
地域に開かれた教育課程(令和3年度完全実施)

図書室の活性化

行事での関わり

学而事人の実践

Calligraphy scroll with Japanese text, likely a motto or school spirit message.



7月23日(火)
毎日新聞



北京の教師たちに「学而事人」のデザイン文字を紹介する生徒たち＝滋賀県高島市の市立湖西中で、塚原和俊撮影

清水安三

精神学ぶ

北京の教師ら、出身地訪問 高島 / 滋賀

中国・北京の「北京市陳経綸（ちんけいりん）中学」の教師ら約40人が22日、約

100年前に学校の礎を築いた日本人キリス

ト教宣教師、清水安三（1891～1988

年）の出身地、高島市を訪れた。安三が終生

大切にした「学んだことを人のために役立て

よう」という四字熟語「学而事人（がくじじ

じん）」の精神を掲げる市立湖西中学校など

で交流し、先人の心に触れた。





湖西の風

26号での写真(右)

「成績があがること」は、子どもも親も、教師も願うことです。「どうしたら5とれる」と聞いてきた生徒は、今まで多いです。そんな簡単なものではありませんが、恐ろしいほどの変化があった生徒も少なくありません。「〇〇〇〇(こういうやり方)をやってみ」と教え、たまたま当たったということもよくあります。

「一日8時間」や「ノートのとり方」もそうです。同じことをやっても、同じように効果が出るとは限りません。しかし、実際にうまくいったことは、一度やってみる価値はあります。26号のノートは、成績を上げてきました。

26号の写真では見にくいということを聞きましたので、学而事人室にご覧いただき、家庭学習の参考にしていただきたいと思います。この本にしてまとめたもので、家庭で復習に15~20分程度でできるもので

学而事人(がくじじん)室より

『学而事人の道(みち)』、学而事人の道の南口・生家前・記念館前・胸像前・学而事人室前・北口と呼ぶことにしました。「学而事人〇〇〇〇〇」は「人が集まる場所」=コミュニティです。「学而事人の道」は、登校時、多くの人(生徒・むくげのはなの会・市役所職員)が、徒歩・自転車・自動車・オートバイ(早朝には犬を連れての散歩の方も多いため)といったいろいろな方法で集まってきました。地域のたくさんの目が、生徒の安全の確保にもつながっています。学而事人の道が、気持ちの良い、出会いの道になっています。

学而事人ファームが、早くも収穫できるようになってきました。「よろず畑(学而事人ファーム最も東側・裏面写真)」からししとうがとれました。先週木曜日、よろずの皆さんが収穫の作業をしておられます。しかし、とうもろこしが育ちにくいようです。なぜ、育ちにくいのかを、多くの人からアドバイスを受けながら考えておられます。初めてなので試してみ、「次は立派なとうもろこしを育てる」と、明るいです。学而事人ファームも、コミュニティになっています。時間がありませんら、見学してください。

学而事人道胸像前、真東、野球場南側です。

「崇貞学園」は安三の朝陽門外に192まで、あった学校で、償で受け入れ、社会を役立てて、生きてをした学校です。「学す。当時、中国に住るも、崇貞学園で学はす。日本と中国とのが、中国でこのようが、安三先生は、憲りと、たいへん危険おられます。

崇貞学園は、その校になり、かつては、流をし、2年に一度、学校を訪れています。

7月22日には、陳名ほどの先生方が、問されます。

学而事人(がくじじん)室より

『学而事人の道(みち)』、学而事人の道の南口・生家前・記念館前・胸像前・学而事人室前・北口と呼ぶことにしました。「学而事人〇〇〇〇〇」は「人が集まる場所」=コミュニティです。「学而事人の道」は、登校時、多くの人(生徒・むくげの花の会・市役所職員)が、徒歩・自転車・自動車・オートバイ(早朝には犬を連れての散歩の方も多いため)といったいろいろな方法で集まってきました。地域のたくさんの目が、生徒の安全の確保にもつながっています。学而事人の道が、気持ちの良い、出会いの道になっています。

学而事人ファームが、早くも収穫できるようになってきました。「よろず畑(学而事人ファーム最も東側・裏面写真)」からししとうがとれました。先週木曜日、よろずの皆さんが収穫の作業をしておられます。しかし、とうもろこしが育ちにくいようです。なぜ、育ちにくいのかを、多くの人からアドバイスを受けながら考えておられます。初めてなので試してみ、「次は立派なとうもろこしを育てる」と、明るいです。学而事人ファームも、コミュニティになっています。時間がありませんら、見学してください。

学而事人道胸像前、真東、野球場南側です。

令和元年度第2回学校運営協議会7月18日10:00～
むくげの花の会8:50～





学而事人(勉強は社会の役に立つためにする)実践

こども食堂ウエルカムボード作成

北小学校夏の補習で勉強を教える

森の再生の植樹に

市役所新庁舎2階からの湖西中学校校舎の絵

湖西中カフェで、地域の方に

滋賀県人権のつどいでのいじめをなくす取組発表

進んで地域で活躍する

生徒の様子(変容)

- ①徐々に、落ち着いてきた。
- ②湖西勉強中学校
- ③生徒会活動の素晴らしさ
- ④部活動の頑張り
- ⑤掃除(2年)
- ⑥交通ルール(1年)
- ⑦ガラスの破損(3年)
- ⑧遅刻がなくなった
- ⑨あいさつがよくなった
- ⑩2学期末からの集会

変化 つくる

コミュニティ = 人が集まる場所

学而事人〇〇〇〇〇

- ① 学而事人室
- ② 学而事人室相談
- ③ 学而事人おはようミーティング
- ④ 学而事人ミュージアム
- ⑤ 学而事人ファーム
- ⑥ 学而事人の道
- ⑦ 学而事人収穫祭(仮称)



職場体験

湖西中カフェ：毎月第4金曜日



学而事人ファーム



来賓の皆さま

保護者 ※2

入学式

者席



姿勢

変化を

つくる時代



「苦悩」から

①教職員の意識

地域連携担当教員の積極性

②保護者の意識

批判から感謝に

③支援者の意識

④今すぐの対応

「こんなことでよいのか」→「自分の気持ちが変わった」 学而事人おはようミーティングで

⑤地域の理解

学校だより・支援者の声の拡散

⑥日常的にする

学而事人おはようミーティングで

⑦活動の線引き

依頼先との丁寧な話し合い

⑧賠償の問題

学而事人室各種会議・打合せで

⑨参加もあればゼロもある、人数はまちまち

支援者のべ人数：昨年 1,511人、今年4～6月 721人

⑩「中学校から町をつくる・町の価値をつくる」

地域と学校協働活動(経過と今後)□・目標:3000人以上の方に学校に地域の方を来ていただく環境づくりをすすめる。

●:参加依頼協力していただく予定、内容も見通し有……………○:できれば地域連携を通してご協力をしていただく。□

	1年	2年	3年	全校 小中連携も	さざなみ	部活動	学力補充	その他 特色ある取り組み
4月		●職場体験準備	・2526修学旅行	●入学式	●農園作業		課題	●一緒に読書
5月	●27清水山城 ウォーク ・城森クラブ ・文化対談	●事前訪問面接 ●20事前訪問 ●27～30職場体験	・発表会	・24中間テスト ・子ども食堂	●花壇作業 藤戸t. ・足立清和 ・森田さん (圭本さん)	●男子テニス 顧問:藤井t. ※清水つかし □□□□OS ●家庭科 顧問:久保井t. ※調理 □(森原S) ※裁縫 □(高橋S)	●学力格差□ が大きい ●質問教室 ではお呼び がかからない ことも ・数学 ・英語 □□	●学問専人 □□□□相談室 ※カルチャー □スクール(昼等) 文化協会との連携 ・符根・岡本 ・香道・合唱 ・俳句・短歌
6月		●7日 □職場体験発表会		●12体育祭 ※講評依頼	…1			
7月		※針江水の旅		●4・私の思い ※審査 ●桜美林交流会	●学問専人 □□□農園 ・収穫と販売	●美術 顧問:波迎t. 学問専人ポス ター制作	・できればテ スト対策より も個人対応 の基礎学力 の向上を 一 ・何をしても らいたいかを 依頼する	●学問専人 □□ミュージアム ・短歌 (国語科、人権講話)
8月		●針江ボラン □□ティア研修		●学力補充4回 ★宿題カフェ等 (小学生と) ★陸上部				
9月		●針江水返る旅		●27文化祭 ※審査 ★吹奏楽部				
10月	●23ふるさと □□ウォーク			・2校内マラン				
11月			※学力補充		●学問専人 □□□農園 ・収穫と販売			
12月	・ヨシ刈り				※販売 ・つけもの ・加工品 □藤戸t. □波迎t.			
1月	●カルタ大会 ※読み手		●面接練習					
2月	●マイライフ?] ●座談会	●志学の集い ※講師□講評	●面接練習					
3月	●発表会							

・組織:むくげの花の会(代表:三田村先生)□□市役所:□市民協働課(担当:加藤さん)□湖西中学校・地域貢献推進委員会(担当:岩田)□

□民生委員・児童委員協議会(代表:柏田さん)・公民館(文化協会)

おわり

自然豊かな・人情深い高島

